

[様式2-1]

2 分野別評価

(1) 学校経営及び学校運営に関する評価

評価項目	自己評価	自己評価結果の概要	学校関係者評価の概要	次年度の改善策
① 業務改善・働き方改革への取組状況	3	・業務改善と働き方改革について業務の見直しや簡素化を行った。アンケートフォームを活用し、集計等の簡素化も実施した。また、過勤務時間の削減に努め減少しているが、依然として多忙な時期には、月45時間超の勤務者がいる。	・学校経営方針について、年度当初の説明で明確化され、共通理解できた。年度末には実践状況や評価の報告がなされた。	・退庁時刻を過ぎてからの保護者への電話連絡などの時間外勤務が多く改善が必要。時間割の変更により、働き方改革に繋げていく。
② 経営方針の明確化とその実践状況	3	・教職員の研修に関しては、三好郡市小学校人権教育研究会に向けて、各学年の授業研究や外部講師を招いての研修会を多く開催し、授業力の向上を図った。また、教育DX推進事業Ⅱに取り組み、タブレット端末を活用した授業改善に向け、教職員研修を行った。	・指定研究に向けての教職員研修が実施できていた。また、GIGAスクール構想に沿って研修も深められ、タブレット端末を活用した学習を進められていた。	・人権教育のさらなる推進と教育DXのさらなる推進を目指して研修を継続し、協働体制で研修に取り組む。
③ 校務分掌分担の適正化と組織的な活動・運営状況	4	・地域と連携した学習活動ができており、フィールドワーク等も実施し、地域理解に努めていた。	・時間割や日課表の見直しによる働き方改革を進め、働き方改革を進めるよう提言いただいた。風通しの良い職員室作りに努めていることや教職員の連携や雰囲気の良いことを評価していただいた。	・不祥事の根絶を目指して、自分事として一層研修に努めるとともに、教職員の信頼回復につながる取組を実践していく。
④ 教職員研修体制の確立と実践状況	4	・コンプライアンス研修に関しては、年間計画と臨時の校内研修を度々行った。		・若手教員のスキルアップを目的に、メンター制を組織化するとともに、特別支援教育ミニ研修も継続していく。
⑤ 教職員の資質向上に向けた取組状況	4			
⑥ コンプライアンス推進への取組状況	4			
⑦ その他 (不祥事防止の徹底)	4			

(2) 教育目標及び教育計画に関する評価

評価項目	自己評価	自己評価結果の概要	学校関係者評価の概要	次年度の改善策
① 学校教育目標の具現化と実践状況	4	・学校教育目標について、教職員や学校運営協議会と共通理解し、その具現化に向けて見直しながら取り組むことができた。	・学校教育目標の共有化・具現化が図れたので、今後も教職員と協働して、今後も協力を惜しまず、取り組んでいきたいとの意見をいただいた。	・今後も保護者や地域との学校教育目標の共有を図りたい。次年度も引き続き保護者、地域と協働しながら学校教育目標で目指す児童の育成に努めたい。
② ナンバーワン・スクール、ステップアップ・スクールの具現化と実践状況	4	・「池小スタンダード」の定着に重点を置いて取り組み、効果を上げている。また、ステップアップスクールの実践では、個別最適な学びと協働的な学びの一体化に向けた授業研究を行い、成果が得られた。	・今後も「池小スタンダード」の定着を目指すとともに、人権教育を中心に据え、ポジティブな行動支援を進め自尊感情の高い児童の育成を進めてほしい。	・「池小スタンダード」の本年度十分でなかった部分に焦点を当て、更なる高みを目指して進化させていく。
③ 創意ある教育課程の編成と実施状況	4	・授業時数が大幅に超えていおる学年もあり、学校行事の精選を進める必要がある。	・タブレット端末の積極的活用を継続して行きながら、読み、書き、読書の重要性についても検討していく必要がある。	・教育DXの取組を継続し、全教科の中で効果的にタブレット端末を活用できるようにしていく。
④ 学校行事の精選・充実と成果の状況	3	・業務改善や働き方改革に取り組んでいるが、依然として多忙な時期には、月45時間超の勤務者がいる。	・時間割や日課表の見直しによる業務改善や働き方改革に取り組んでいかなければならない。	・授業時数を週あたり1時間削減を進める。また、学校行事の精選や時間の見直しを行い、業務改善や働き方改革に繋げていく。
⑤ その他 (業務改善と働き方改革)	3			

[様式2-2]

2 分野別評価 その2

(3) 主要な教育活動に関する評価

評価項目	自己評価	自己評価結果の概要	学校関係者評価の概要	次年度の改善策
① わかる授業の実践とその成果の状況	4	・ICT機器を活用した個別最適な学びや話し合い活動の充実、協働的な学習を進めることで、主体的に学ぶ姿勢が見られるようになり、わかる授業に繋げて行けた。しかし、	・保護者アンケート結果の家庭学習の評価が低く、読み、書き、読書の充実について提言いただいた。また、学力向上についても肯定的な意見をいただいている。わかる授業の実践につながる取組を進めていく必要がある。	・個別最適な学びと協働的な学びの一体化に向けたタブレットを活用した授業づくりを更に発展させていく。また、読み、書きなどの基礎的な学力の定着を図るとともに、読書を通じて思考力・表現力の向上に努める。
② 生徒指導の取組とその成果の状況	3	・保護者とこまめに連絡を取りながら、保護者との信頼関係の構築に努めた。生徒指導上のトラブルもあったが、そうした取組により解決につながった。	・家庭との連絡や相談についても肯定的な意見が得られているので、今後も保護者との人間関係を最優先で進めていく。	・いじめアンケートや日常の児童観察により、いじめ等問題の早期発見に努める。
③ 道徳教育及び人権教育の取組とその成果の状況	3	・人権集会や人権委員会の取組などを通して全校で人権意識を高めていく取組が行えた。安全教育に関しては、今年度新たに緊急時の引き渡し訓練を行い、災害時に備えられるようにした。		また、全校で人権意識を高めていくような活動を進めていく。PBSを実践し、積極的な声かけや称賛等を継続して行う。
④ 健康・安全教育の取組とその成果の状況	4	・幼小中高校との異校種間交流を数回行った。また、池小校区保・幼・小の相互参観や意見交換会により共通理解を図り、スムーズな連携にもつながった。		・今年度つながりのできた中学校や高校との異校種間交流を継続し、連携を更に密にする。教諭の相互参観も検討していく。
⑤ 学力向上への取組とその成果の状況	4			
⑥ その他 (池小校区PBSの取組)	4			

(4) 保護者及び地域との連携等に関する評価

評価項目	自己評価	自己評価結果の概要	学校関係者評価の概要	次年度の改善策
① 保護者・地域社会への情報発信及び意見収集状況	3	・保護者への情報発信に関しては、HPの更新やマチコミメールを使用して行った。学校だよりを学校運営協議会にも配布すればよかった。	・生活科や総合的な学習で、地域の方々と一緒に子どもを成長させるのは非常によい。	・年度初めにPTA活動の見直しを図りたい。保護者の負担過重にならないよう活動内容も軽減、改善していきたい。
② 地域行事やボランティア活動への参加状況	3	・PTA活動の見直しとして、年度初めの役員選出方法について改善した。年度内での役員選出に向けて、規約を改定した。	・地域の見守り隊の活動は非常にありがたい。	・生活科や総合的な学習の活動を充実できるよう、地域人材の活用について学校運営協議会や地域コーディネーターと積極的に連携していく。
③ PTA活動の活性化に向けた取組状況	4	・幼小中高校との異校種間交流で、中高連携の取組も行った。	・今後も幼稚園や中学校、高校との交流を継続していくべきである。	
④ 他校や異校種間との交流連携強化への取組状況	3	・地域の人材や外部講師の活用に関しては、各学年で複数回行うことができた。	・地域と学校が一体となって児童の育成に取り組めるよう、今後も地域の人材を活用した学習を展開してもらいたい。	
⑤ 地域の人材や外部講師の活用状況	4	・学校独自で依頼した方や学校運営協議会や地域コーディネーターを活用した地域人材や外部講師の招聘ができた。		
⑥ その他 (学校運営協議会の活性化)	3			

[様式2－3]

2 分野別評価 その3

(5) その他に関する評価

評価項目	自己評価	自己評価結果の概要	学校関係者評価の概要	次年度の改善策
① 教育環境の安全管理及び整備状況	4	・安全管理に関しては、月1回の定期安全点検の実施を欠かさず実施した。設備の老朽化に伴う修繕が多くあったと感じる。	・授業参観のなかで、タブレット端末を積極的に取り入れた授業が多く見られ、楽しく学べていると感じた。 ・教育DX推進事業Ⅱでの三好市共催イベントでの取組は、児童たちの主体的な学びが見られ、多くの方から賞賛される取組となった。	・児童の情報リテラシーの向上を目指して、今後もタブレット端末やICT機器の有効な活用方法を模索していく。 ・教育DXの推進に向けた取組を次年度も継続して行い、個別最適な学びと協働的な学びの一体化を探究していく。 ・全校あげての人権意識を高めていく活動を継続して行い、人権を大切にできる児童の育成や児童の自尊感情を高める取組を継続していく。
② タブレット等, ICT機器の活用状況	4	・持ち帰りも行い、学習ツールの一部としてタブレットが活用できるようになってきている。学習の振り返りをタブレットで行うことでほぼ毎日活用するようになってきている。		
③ 特別支援教育の取組状況	4	・特別支援教育に関しての研修や児童理解研修を行った。特別支援教育コーディネーターを中心とした研修体制や若手育成の研修が充実していた。		
④ 指定研究等の取組状況(教育DX推進事業Ⅱ)	4	・教職員の研修に関しては、三好郡市小学校人権教育研究会に向けて、各学年の授業研究や外部講師を招いての研修会を多く開催し、授業力の向上を図った。また、教育DX推進事業Ⅱに取り組み、タブレット端末を活用した授業改善に向け、教職員研修を行った。		
⑤ 工夫した部活動の実施状況(中学校のみ)				
⑥ その他 (三好郡小学校人権教育研究会の取組)	4			